

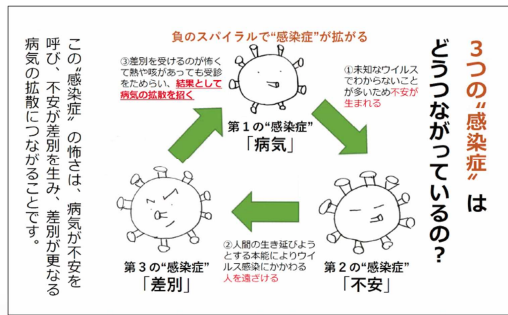


## 学校での新しい生活習慣

校長 赤尾 眞司

6月1日の学校再開から1か月が過ぎました。1・2週目の分散登校中は、「午前授業がいい」「午後の授業がいい」など様々な子供たちの声が聞こえてきました。3週目からの一斉登校が始まると、久しぶりに学級や学年の友達に会うことが出来るうれしさが感じられました。給食も開始しました。4週目からは、休み時間の校庭遊びを始めました。久しぶりに子供たちのたくさんの笑顔を見ることが出来ました。まだ、授業中、給食中など気を付けなくてはならないことがたくさんありますが、少しずつ平常の学校生活に戻りつつあります。

授業が再開してからすぐに、「新型コロナウイルス感染症の予防」についての学習をしました。どのように感染するのかを知り、感染症予防のためにどのような行動が必要なのかを考えました。手洗いを丁寧にする、ウイルスがついているかもしれない手で目、鼻、口などを触らないようにする、マスクをして咳エチケットに気を付ける、よく食べ、よく寝て、よく運動し、丈夫な体を作るなどが大切であることを確認しました。また手洗いやマスクの付け方についても学習しました。



「新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見について」の学習もしました。「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう（左図）」を提示して、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別がさらなる病気の拡散につながることを知り、差別する気持ちを生まないようにするために自分がどうすればよいかを考えました。病気に対する正しい知識を持ち、新しい生活習慣を実行することが差別や偏見を生まないことにつながることを学習しました。

先日新聞に、小学生が次のような投稿をしていました。

『新型コロナウイルスかんせん拡大で病院でははたらいっている人などに差別が広がっているという記事を読み、びっくりしました。みんなのために命をかけてコロナの患者を助けようとしているだけなのに、「大丈夫なの？」といわれたり、子どもをあずかってくれなかったりなんて、とてもひどいと思いました。私は、みんなで協力してたすけあえばいいと思いました。病院ではたらいっている人たちと協力してコロナをおさめたい、と思いました。』読売新聞 6月23日号より

本校では感染症対策として、石けんで手を洗う、マスクを付ける、友達との間隔をあける、この3つを大切にして指導を行っています。手洗いやマスクを付けることはできているのですが、友達との間隔をあけることは、なかなか難しい課題です。学校は再開しましたが、感染症対策は続きます。感染症予防と学校生活を両立させるためにも、自分たちが出来ることを考え、実践することが大切です。子供たちと一緒に、学校での新しい生活の習慣を作り上げていきたいと考えています。

### ◇感染症予防のために今後も継続してお願いします

- マスクの着用は続きます。ハンカチ、ティッシュも必ず持たせてください。
- 毎日の検温も継続してお願いします。「健康観察の記録」に記入して持たせてください。
- 体調がすぐれない場合は、無理をせずに自宅で休ませてください。感染症予防のために、学校で発熱や具合が悪くなった場合は、ご家庭に連絡をしてお迎えをお願いします。
- 暑くなりますが、学校の冷水器の使用は中止します。水筒の持参をお願いします。
- 欠席する場合や担任への連絡がある場合は、電話連絡をお願いします。

### ☆移動教室中止のお知らせ

毎年5・6年生が実施している移動教室ですが、今年度は感染症防止を考えると実施は困難との判断から、5・6年生ともに中止となりました。子供たちにとっては残念な決定ですが、ご理解のほどお願いいたします。なお、学校日より6月号で、7月31日を移動教室説明会とお知らせしましたが、移動教室中止のため説明会も行いません。